

イデックスオイルレポート ~For a week~

2021/7/21作成 (株)新出光

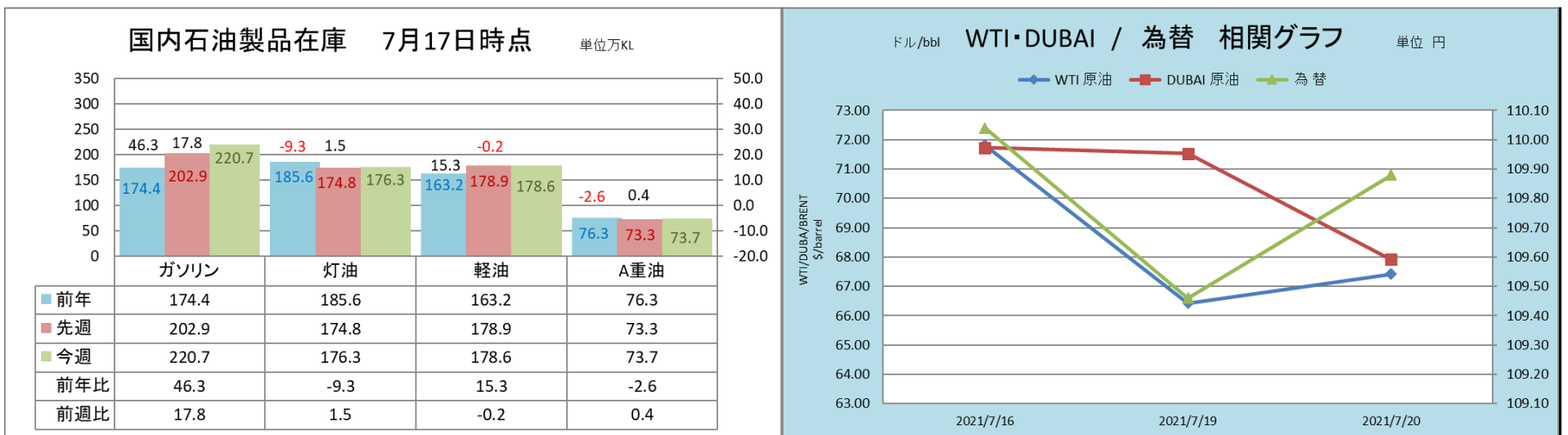
【概況】<OPEC妥結により原油相場大幅下落>

●16日、OPECプラスの生産方針をめぐり、サウジアラビアとアラブ首長国連邦(UAE)の協議が妥結したと伝わりました。UAEは自国の産油量引き上げにつながる生産基準の見直しを主張しサウジと対立していました。これを受けてOPECプラスの今後の協議では、他国も増産規模の拡大を求める可能性が懸念材料として浮上したことが原油の売りに繋がりました。

●19日、OPECプラスは18日、テレビ会議で閣僚級会合を開き、8月から生産量を毎月日量40万バレルずつ増やしていくことで合意しました。新型コロナウイルスの感染が再拡大し、世界的な景気やエネルギー需要の回復に不透明感が広がる中、増産決定を嫌気した売りが膨らんでいます。また、この日は米株が急落するなど、世界的に株安が進行したこともあり、投資家心理の冷え込みがリスク資産の一つである原油の売り圧力につながったようです。

●20日、米株値の大幅反発や米長期金利の持ち直しを眺めて原油先物にも買い戻しが入り、反発しました。また、米国内でのエネルギー需要の増大観測も支援材料となっています。在庫週報の発表を前に、アナリスト調査によると、16日までの週に原油在庫は450万バレル減少し、9週連続の取り崩しとなる予測のようで、ガソリン在庫も100万バレルの減少が見込まれています。

7月21日 | 17:00現在 | WTI原油 | 67.44ドル | 為替 1ドル | 110.08円



	次回元売変動予測		【製品卸価格】<販売攻勢に一層拍車がかかる>
	7/29~	元売変動予測	
ガソリン	➡	-4.0~-3.5	<p>《今週》今週の元売り仕切り改定はENEOS・出光興産・コスモの三社はすべて「-0.5円」の値下げ改定でした。出光興産は前回他社よりもさらに「-0.5円」下げているので、出光玉と他社の改定の格差が依然残ることとなりました。ただ、現状では、月間リンク玉の販売が優勢の状況下ですので、この格差による目立った販売をしているようには聞こえてきません。</p> <p>《7月22日以降》次回の元売り改定は、現状の原油コストで「-4.0~-3.5円」の大幅値下げ予測です。明日より4連休に入りますので、週間の原油コストが見えずらくなりますが、先安傾向と考え売りを強めています。次回改定の29日以降に週決め玉のコストが大幅に下がると、月間リンク玉の価格競争力が無くなりますので、次回改定前までの枠終了を念頭に販売を進めているようです。ただ、月間リンク玉も不採算により下げ余地はないと思われそうですが、消化を優先した狼狽売りも行われており、時間を追うごとに価格が下がっていることが窺えます。連休とはいえども需要のない状況から、月内の市況がこのまま上がることはないまま推移することが予測されそうです。</p>
灯油	➡	-4.0~-3.5	
軽油	➡	-4.0~-3.5	
A重油	➡	-4.0~-3.5	
LSA	➡	-4.0~-3.5	

※現段階の原油コストによる予想です。

【次世代エネルギー】<アンモニア単体でのエンジンシステムの開発>

大阪ガスは環境省の委託事業として豊田自動織機と共同でアンモニアを燃料とする小型エンジンシステムの技術開発と実証実験を始めたこと発表しました。アンモニアにより発電するシステムの開発については、JERAとIHIが進めているアンモニアと石炭を混焼した火力発電所のシステムの検証など、各社様々な取り組みを進めていますが、大阪ガスと豊田自動織機はアンモニア燃料単体で利用可能な小型エンジンシステムの開発を進めていきます。アンモニアはCO2を排出しない一方で燃焼しにくいなど、燃料としての課題があるためにアンモニア単体を燃料とするエンジンシステムの実用例はまだありませんが、将来的にアンモニアだけをエネルギー源とした発電の技術開発が進めば、CO2排出の削減に大きく貢献できることが期待されます。

[出典]

- https://www.osakagas.co.jp/sp/company/press/pr_2021/1296663_46449.html
- <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF164VZ0W1A710C2000000/>
- <https://finance.yahoo.co.jp/news/detail/20210720-00209605-mosf-stocks>